

< 認知症対応型共同生活介護用

## 評価結果報告書

### 地域密着型サービスの外部評価項目構成

|                                | 項目数       |
|--------------------------------|-----------|
| 理念に基づく運営                       | <b>11</b> |
| 1. 理念の共有                       | 2         |
| 2. 地域との支えあい                    | 1         |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用          | 3         |
| 4. 理念を実践するための体制                | 3         |
| 5. 人材の育成と支援                    | 2         |
| 安心と信頼に向けた関係づくりと支援              | <b>2</b>  |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応      | 1         |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援      | 1         |
| その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント       | <b>6</b>  |
| 1. 一人ひとりの把握                    | 1         |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | 2         |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援              | 1         |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働    | 2         |
| その人らしい暮らしを続けるための日々の支援          | <b>11</b> |
| 1. その人らしい暮らしの支援                | 9         |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり        | 2         |
| <b>合計</b>                      | <b>30</b> |

|       |                        |
|-------|------------------------|
| 事業所番号 | 467030024              |
| 法人名   | 有限会社 いきいきケアサポート        |
| 事業所名  | グループホーム いきいき館          |
| 訪問調査日 | 平成 20 年 11 月 14 日      |
| 評価確定日 | 平成 21 年 1 月 19 日       |
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 社会保障制度活用支援協会 |

#### 項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。  
番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

#### 記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

#### 用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みません。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成20年11月 17日

## 【評価実施概要】

|       |                                  |
|-------|----------------------------------|
| 事業所番号 | 467030024                        |
| 法人名   | 有限会社 いきいきケアサポート                  |
| 事業所名  | グループホーム いきいき館                    |
| 所在地   | 鹿屋市東原6006-1<br>(電話) 0994-42-7112 |

|       |                        |       |            |
|-------|------------------------|-------|------------|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 社会保障制度活用支援協会 |       |            |
| 所在地   | 鹿児島市城山一丁目16番7号         |       |            |
| 訪問調査日 | 平成20年11月14日            | 評価確定日 | 平成21年1月19日 |

## 【情報提供票より】(20年10月1日事業所記入)

### (1) 組織概要

|       |              |        |                           |
|-------|--------------|--------|---------------------------|
| 開設年月日 | 平成 15年 8月 1日 |        |                           |
| ユニット数 | 2 ユニット       | 利用定員数計 | 18 人                      |
| 職員数   | 17 人         | 常勤     | 14 人, 非常勤 3人, 常勤換算 15.6 人 |

### (2) 建物概要

|      |                 |
|------|-----------------|
| 建物構造 | 木造平屋 造り<br>1階建て |
|------|-----------------|

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

|                     |          |                |            |     |
|---------------------|----------|----------------|------------|-----|
| 家賃(平均月額)            | 27,000 円 | その他の経費(月額)     | 光熱費 6000 円 |     |
| 敷金                  | 無        |                |            |     |
| 保証金の有無<br>(入居一時金含む) | 無        | 有りの場合<br>償却の有無 | 無          |     |
| 食材料費                | 朝食       | 円              | 昼食         | 円   |
|                     | 夕食       | 円              | おやつ        | - 円 |
| または1日当たり            |          | 850 円          |            |     |

### (4) 利用者の概要(10月 1日現在)

|       |           |      |      |    |      |
|-------|-----------|------|------|----|------|
| 利用者人数 | 16 名      | 男性   | 1 名  | 女性 | 15 名 |
| 要介護1  | 3 名       | 要介護2 | 8 名  |    |      |
| 要介護3  | 4 名       | 要介護4 | 0 名  |    |      |
| 要介護5  | 1 名       | 要支援2 | 0 名  |    |      |
| 年齢    | 平均 84.2 歳 | 最低   | 62 歳 | 最高 | 94 歳 |

### (5) 協力医療機関


|         |                    |
|---------|--------------------|
| 協力医療機関名 | 小倉記念病院 さかもと歯科クリニック |
|---------|--------------------|

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

グループホームいきいき館は、閑静な住宅街にあり、隣りには、毎日のように散歩ができる公園があり、利用者の各居室は、必ず日が差し込むように東・南・西に配置され、窓越しで近所の方々との語らいができる、地域密着型サービスに適した場所に設立されている。利用者は、二つのユニットを自由に行き来して、楽器演奏をしたり、おしゃべりを楽しんでいる。今年度より訪問看護ステーションと契約し、本人・家族も健康管理に安心度が増したグループホームである。管理者は、鹿屋市認知症サポーター養成講座・認知症予防教室の講師を担当するなど、市とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。

|      |   |
|------|---|
| 重点項目 | 前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)  |
|      | <p>昨年の外部評価は、運営推進会議・家族会・職員会議で報告し、アドバイスを元に、外部講師を招いての研修や栄養指導を受けたりして取り組んでいる。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>今回の自己評価は、各ユニットごとにリーダーを中心に職員で話し合い、作り上げている。現在のケアに満足せず、ケアの質の向上に取り組みたい意思のみえる自己評価である。</p> |
| 重点項目 | <p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>二ヶ月に1回、町内会長・鹿屋市職員・家族代表の参加で、開催されている。地域の情報を頂き、地域との関わり(小学校の行事への参加・消防団との連携)に役立っている。</p>  |
| 重点項目 | <p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>家族会を開催したり、花見などの行事に家族をお誘いしたりして、意見を聞く機会を設けている。家族からの要望・相談については、職員会議・ミーティング時に、話し合っ解決している。申し送りノートに家族からの連絡など記入しているが、職員全員のサインが無く、職員全員の共有が図られていない。</p>           |
| 重点項目 | <p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>町内会に加入し、一住民として班会・花見・文化祭・小学校の運動会などに参加して、地元の人々と交流することに努めている。</p>   |

## 2. 評価結果 (詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

| 外部                    | 自己 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ( 印 ) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------|----|--|---|-------|-----------------------------------|
| <b>. 理念に基づく運営</b>     |    |  |   |       |                                   |
| 1. 理念と共有              |    |  |   |       |                                   |
|                       | 1  | 地域密着型サービスとしての理念<br>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている                  | 開設時からの理念「その人らしく喜びと生きがいのある暮らし」に、「家族や地域とのふれあいを大切に心豊かな暮らし」と、平成18年度から地域密着型サービスとしての理念を付け加えて作り上げている。  |       |                                   |
|                       | 2  | 理念の共有と日々の取り組み<br>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる                                     | 職員は、「利用者の特技を導き出し喜びと生きがいを、地域での散歩・外食・買い物・子供たちとの交流でふれあい」を、日々の関わりの中で理念の実践に取り組んでいる。  |       |                                   |
| 2. 地域との支えあい           |    |  |   |       |                                   |
|                       | 5  | 地域とのつきあい<br>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている               | 町内会に加入し、一住民として班会・花見・文化祭・小学校の運動会などに参加して、地元の人々と交流することに努めている。  |       |                                   |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 |    |  |   |       |                                   |
|                       | 7  | 評価の意義の理解と活用<br>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる                 | 昨年の外部評価は、運営推進会議・家族会・職員会議で報告し、アドバイスを元に、外部講師を招いての研修や栄養指導を受けたりと、取り組んでいる。今回の自己評価は、各ユニットごとにリーダーを中心に職員で話し合い、作り上げている。現在のケアに満足せず、ケアの質の向上に取り組みたい意思のみえる自己評価である。 |       |                                   |
|                       | 8  | 運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 二ヶ月に1回、町内会長・鹿屋市職員・家族代表の参加で、開催されている。地域の情報を頂き、地域との関わり(小学校の行事への参加・消防団との連携)に役立っている。   |       |                                   |

鹿児島県 グループホームいきいき館

| 外部              | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | (印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                  |
|-----------------|----|---|--|-----|---|
| 6               | 9  | 市町村との連携<br>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる                               | 鹿屋市認知症サポーター養成講座・認知症予防教室の講師を担当するなど、市とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。  |     |   |
| 4. 理念を実践するための体制 |    |   |  |     |   |
| 7               | 14 | 家族等への報告<br>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている                              | 毎月ホーム便りを発行して、利用者の様子・お願い事を報告している。面会時に、利用者の健康面・病院受診の結果を個人台帳で報告している。緊急報告は、電話で家族に報告している。   |     |   |
| 8               | 15 | 運営に関する家族等意見の反映<br>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                                | 家族会を開催したり、花見などの行事に家族をお誘いしたりして、意見を聞く機会を設けている。家族からの要望・相談については、職員会議・ミーティング時に、話し合っ解決している。申し送りノートに家族からの連絡など記入しているが、職員全員のサインが無く、職員全員の共有が図られていない。 |     | 家族からの意見等を、職員全員へ申し送りが確実にでき、共有する工夫を望みます。            |
| 9               | 18 | 職員の異動等による影響への配慮<br>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 職員の離職を抑えるように、職員と問題点について話し合いをするように努めている。代わる場合は、利用者への関わり、コミュニケーションを深め、信頼関係を築き、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。   |     |   |
| 5. 人材の育成と支援     |    |   |  |     |   |
| 10              | 19 | 職員を育てる取り組み<br>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている              | 毎月の職員会議で学習の時間を設けたり、2ヶ月毎に、外部講師を依頼して研修会を実施している。外部研修にも各職員に年1回以上の参加をさせている。外部研修の報告は、職員会議で口頭で報告して、外部研修の内容を全職員が共有できているとはいえない。                     |     | 研修内容を全職員が確実に共有できる工夫をし、研修の実施記録を残されることを望みます。        |
| 11              | 20 | 同業者との交流を通じた向上<br>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている    | 地域のグループホーム協議会に加入して、協議会の研修会に参加して、他の事業所と交流している。事業所の外部講師を招いての研修を、他の施設にも呼びかけ合同で学習している。   |     | 今後、職員の他の事業所との相互訪問などを通じて、サービスの質の向上に取り組まれることを期待します。 |

| 外部                               | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | (印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|----|---|--|-----|-----------------------------------|
| <b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>        |    |   |  |     |                                   |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応        |    |   |  |     |                                   |
| 12                               | 26 | <p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p> | <p>入所前に本人と家族が見学したり、体験利用も可能である。また、利用者の自宅訪問をして本人・家族との信頼関係を築く努力をしている。入所してからは、利用者が雰囲気に徐々に馴染めるように家族と相談しながら対応している。</p> |     |                                   |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援        |    |   |  |     |                                   |
| 13                               | 27 | <p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>                        | <p>利用者の言葉や行動に思いや意向を把握し、生きがいや喜びを感じる生活になるように、本人から学んだり、支えあう関係を築くよう努めている。</p>  |     |                                   |
| <b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |    |   |  |     |                                   |
| 1. 一人ひとりの把握                      |    |   |  |     |                                   |
| 14                               | 33 | <p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>  | <p>利用者と共に生活しながら言葉や行動で、やりたい事・食べたいものを把握するように努めている。困難な場合は、家族に働きかけて本人本位に検討している。</p>                                  |     |                                   |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し   |    |   |  |     |                                   |
| 15                               | 36 | <p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>         | <p>利用者・家族・職員と話し合い、かかりつけ医の意見を取り入れて介護計画を作成している。</p>  |     |                                   |
| 16                               | 37 | <p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>     | <p>毎月、職員会議で利用者について話し合いをしている。また、3カ月ごとにモニタリングして、サービスの内容の見直しをしている。対応できない変化が生じた場合は、随時見直しをしている。</p>                   |     |                                   |

| 外部                          | 自己 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | (印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------------|----|--|--|-----|-----------------------------------|
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援           |    |  |  |     |                                   |
| 17                          | 39 | 事業所の多機能性を活かした支援<br>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている                             | 訪問看護ステーションを利用して、医療処置を受けながらの生活の支援の継続をしている。家族の要望に応じて、病院受診の送迎等、柔軟な支援をしている。                    |     |                                   |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 |    |  |  |     |                                   |
| 18                          | 43 | かかりつけ医の受診支援<br>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している              | 利用者・家族等の希望するかかりつけ医になっており、定期受診の支援をしている。訪問看護ステーションとの医療連携の契約により、適切な医療を受けられるようになっている。          |     |                                   |
| 19                          | 47 | 重度化や終末期に向けた方針の共有<br>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 入所時に、看取り介護の指針を家族に説明して、同意書に記名捺印をもらっている。急変時には、マニュアルで、職員は方針を共有している。                           |     |                                   |
| . その人らしい暮らしを続けるための日々の支援     |    |  |  |     |                                   |
| 1. その人らしい暮らしの支援             |    |  |  |     |                                   |
| (1) 一人ひとりの尊重                |    |  |  |     |                                   |
| 20                          | 50 | プライバシーの確保の徹底<br>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない                          | 守秘義務について、新人教育の時、就業規則の説明をして、契約している。排泄時・言葉かけ等のプライバシーについては、ミーティング時・現場で指導している。記録物は、事務所で保管している。 |     |                                   |
| 21                          | 52 | 日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している            | 朝寝坊したり、体調に合わせて食事の時間を考慮したりと利用者本人のペースで過ごせる支援をしている。   |     |                                   |

鹿児島県 グループホームいきいき館

| 外部                            | 自己 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ( 印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)   |
|-------------------------------|----|--|--|------|---|
| 22                            | 54 | 食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている    | 食事に関する一連の作業を通じて入居者の力を発揮できる場面作りをしている。献立に菜園で採れた旬の野菜を取り入れ季節を感じる工夫をしている。毎月、外食に出かけることが、利用者の楽しみになっている。 |      |   |
| 23                            | 57 | 入浴を楽しむことができる支援<br>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している   | 2ユニットで入浴日をずらすことで、毎日入浴を希望する利用者の対応をしている。拒否される方には、声かけの工夫で入浴の対応をしている。                                |      |   |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 |    |  |  |      |   |
| 24                            | 59 | 役割、楽しみごと、気晴らしの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 自室の清掃・食事の一連の作業・洗濯物干しやたたみなど利用者の力を活かし、喜びや生きがいにつなげている。音楽祭のための楽器演奏・外食・保存食作りなど行事計画にあげ支援している。          |      |   |
| 25                            | 61 | 日常的な外出支援<br>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している                   | 天気が良ければ、敷地内の菜園で野菜作りをしたり、隣の公園へ散歩やグランドゴルフに出かけている。利用者の希望があれば、買い物・墓参り・外食など外出の支援をしている。                |      |   |
| (4) 安心と安全を支える支援               |    |  |  |      |   |
| 26                            | 66 | 鍵をかけないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる          | 職員は、鍵をかけることの弊害について職員会議で学習して理解している。玄関に鍵をかけず利用者を職員は見守っている。地域の方々に協力をお願いし、声かけをしている。                  |      |   |
| 27                            | 71 | 災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている      | 夜間想定火災訓練を年2回実施している。新人には、職員会議の中で指導している。地震想定訓練はしていない。非常食・飲料水の備蓄はしていない。                             |      | 地震想定避難誘導などいろいろな想定自主訓練を望みます。非常食・飲料水の備蓄を勧めます。日頃より地域の方々の協力を得られるよう働きかけを期待します。 |

鹿児島県 グループホームいきいき館

| 外部                      | 自己 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | (印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------|----|--|---|-----|-----------------------------------|
| 28                      | 77 | 栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている                                   | 食事摂取量・水分摂取量を個人台帳に記録している。栄養バランスのチェックを管理栄養士の講義の際にしてもらい問題なかった。利用者の状態や力にあわせ、大きさや硬さに工夫をしている。                           |     |                                   |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり |    |  |   |     |                                   |
| (1) 居心地のよい環境づくり         |    |  |   |     |                                   |
| 29                      | 81 | 居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 利用者の一日の生活空間が、東・南・西に配置され、天気の良い日は、必ず日差しが差し込むように工夫されている。居間や廊下にソファが配置され、利用者がくつろげるようになっている。利用者が毎月作った、季節感のある作品が掲示されている。 |     |                                   |
| 30                      | 83 | 居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている                   | ベッドとタンスは備え付けであるが、利用者の自宅から持ち込まれた家具・冷蔵庫・テレビ・位牌など利用者の個性のある居室が作られている。   |     |                                   |